



[トップ](#) [暮らしの情報](#) [文化・スポーツ](#) [生涯学習・社会教育](#)

ひので映画大使最新版

[2017年5月23日]

第79回映画大使「追憶」

- ・ 期日 平成29年5月14日(日曜日) ※公開2週目！
- ・ 場所 イオンシネマ日の出

作品介绍

「鉄道員(ぽっぽや)」「あ・うん」など数々の名作を世に送り出してきた日本映画界きっての巨匠、降旗康男監督と木村大作カメラマンのコンビが9年ぶりにタッグを組み作り上げたヒューマン・サスペンス。

主人公の四方篤には「永遠の0」「海賊とよばれた男」などに主演し、いまや映画界に欠かせない存在になった岡田准一が、篤の旧友、啓太役には「信長協奏曲(のぶながコンツェルト)」などの小栗旬、悟役を「GONIN サーガ」などの柄本佑が演じるほか、長澤まさみ、木村文乃、安藤サクラ、吉岡秀隆などの日本を代表する豪華俳優陣が脇をかためている。

一つの事件をきっかけに25年ぶりに再会した幼なじみ3人を中心に、彼らが離ればなれになった過去の出来事と新たな事件の真相を、3人それぞれの家族への想いや辿った人生模様とともに重厚な映像で描き出す。



(C) 2017映画「追憶」製作委員会

映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

映画大使の「第一声！」

- ★ **演技の素晴らしさが印象的でしたね！**
- ★ **この作品は本当に良い作品だなと思いましたね！**
- ★ **三人の強い友情を感じて感動しました。**
- ★ **曇や夕日がきれいだなと思いました。**



今回参加された、映画大使の皆さんです！

映画大使の「映画のツボ！」

Aさん

今回の作品の配役をみますと主役を演じてきた実力俳優ばかりでびっくりしましたし、演技が迫力あり見事だなと思いました。演技の素晴らしさが印象的でしたね。

ポスターで使用しているシーンを観て心地よかったです。

Bさん

娘にこの作品の事を聞きましたら『岡田准一さんの作品ならば絶対完璧』と言われましたがそのとおり良かったです。岡田さんは外国人のよう顔つきで『いい男になったな』と思いましたね。

涙するシーンもありました。

Cさん

冒頭の富山県の自然も美しく良かったですし、配役も良かったです。私は安藤さんが演技派で大好きですね。

Dさん

この作品は本当に良い作品だなと思いましたね。

エンドロールが最近の作品は下から上に流れる作品が多い中左から右へ横に流れていたのが珍しいと思いました。

監督がこの作品で何を言いたいのかと考えていたのですが、人間は年を重ねていくと多かれ少なかれ言いたくない過去が出来てくるものですが、それをどこかで断ち切らなくてはならないものだという事を言いたいのかなと思いました。それを小栗さんが演じる啓太が家を重機で壊すシーンで表現しているのではないかと感じましたね。

Eさん

この作品で描きたかったのは、篤、啓太、悟の3人の友情の話であると感じました。小さなころそれぞれ家庭の事情で不遇だった3人が、喫茶店でたまたまめぐり合い優しいお姉さんに守っていただいた。事件をきっかけに離れ離れになってしまい、一緒にすごした期間は短いですが、離れていても3人の結束は固かったのだなと感じましたね。3人の強い友情を感じて感動しました。

Fさん

子ども時代の友情は強かったのだなと感じました。

岡田さんは感情を込める演技が上手な方だと思っていたので、この作品でもどのような演技をするのか楽しみでした。小栗さんも演技が上手で凄く気持ちにためのある演技をされる方だと思いますね。安藤さんも、言葉少ないのですが良い演技をする方だなと思いました。

日本の映画は気持ちの部分を中心に映像で表現しているなと思いましたね。

Gさん

岡田さんは中学生のころ『岡田少年』と言われてバラエティー番組に出ていたのですが、そのころから比べると随分と成長したのだなと思いました。中学生のころから良い男でしたが。

「追憶」という題名ですと、洋画でも同名の作品がありますが、今回の作品とはおもむきが違うように思います。

映画はいいですね。好きです。楽しめました。

Hさん

この作品はテレビで宣伝をしていましたので、観たいなと思っていました。

結末は納得しましたし、映画として楽しめましたね。

岡田さんの作品は過去にも観ているのですが、やはり凄いなと思いました。

この作品を観て、人を信じる事の素晴らしさと、寂しさの裏返しが他の人に迷惑をかけたり、夫婦であっても言えない部分があったりするの自分の気持ちを素直に言えたりするとわだかまりがなくていいし、楽になるのではないかと感じました。

みんなそれぞれ追憶があると思うのですが、信じていく事を貫いていきたいなと思いましたね。

Iさん

この作品のタイトルは『追憶』でしたので、追憶という言葉をどのように感じ取ったらよいかと思っていました。記憶をとどめていだけなのか、昔を懐かしむのかと思いましたがこの作品は懐かしむわけではなかったと思います。

3人の少年がどのような家族の形でありたいかという事が描かれていたと思います。涼子さんと山形さんの関係は、凄くあたたかくて3人の少年に影響を与えていたと思いますね。涼子さんのような愛で人をはぐむ事のできる方は、そうそうにいないと思います。3人の少年を受け入れている時は、本当の家族のような感じでしたね。その子たちが大きくなった時にそれぞれ形は違いますが、家族を大事にしているなと感じました。その中で一番良い家族の形を作れたのは小栗さんが演じる啓太であったと思います。彼の家族をみているとほっとしましたね。

雲や夕日がきれいだなと思いました。

エンドロールが左から右に横に流れていったのでじっくり読む事ができて良かったですね。

作品の内容(印象に残ったシーンなど)

- ・人は寂しいもので、人と人とのつながりや思いやりが大切だと思いました！
- ・複雑な話を一つの作品にまとめて凄いと感じましたね！
- ・小栗さんが演じる啓太は、今の家族を守りたかったのかなと思いましたね！
- ・監督はもしかすると行動を起こさないと成功しないという事もこの作品で言いたかったのかもしれないと思いましたね！
- ・岡田さんが演じる篤の職場の同僚や上司の方もあたたかい方たちだなと思いましたね！
- ・安藤さんが演じる涼子さんが使っていた車いすは、ほとんど木製でした。富山県の名産なんですかね。
- ・奥の深い作品でしたね！

まとめ

この作品は、数々の名作を世に送り出してきた日本映画界きっての巨匠、降旗康男監督と木村大作カメラマンのお二人の作品であり映像は重厚で美しく、基本的にカメラを移動する事なく撮影されており、編集も基本に忠実に行うなど、まさに日本映画であると言えると思います。

物語の中で中心となって描いているのは『人』であり、『人のやさしさ』『人の心』『家族』『子ども』などに焦点が当てられている人間ドラマになっています。

また、映画大使の方からもお話がありましたが、この作品は人間関係や、ストーリーが複雑であり、複数の人の物語をうまく一つにまとめていると思います。

「追憶」というタイトルを付けた事も作品への自信を感じ、観終わっていろいろな事を考えさせられる奥の深い作品になっています。

映画は是非、劇場の大スクリーンでご覧ください！

映画大使では、年代も性別も違う方達が、それぞれ意見を出し合いひとつの映画について話し合うという、日ごろできない経験をする事が出来ます。映画を観て自分がこう思っただけでなく、年齢や経験などの違う人の目線で観たことを聞くことにより、違った発見があるので、ひとつの映画が何倍にも広がって行きます。

今後も「ひので映画大使」にご期待ください！！

関連ページ

- ・ [これまでのひので映画大使](#)
- ・ [ひので映画大使のトップに戻る](#)

ご意見をお聞かせください

このページは役に立ちましたか？

役に立った どちらともいえない 役に立たなかった

このページは見つけやすかったですか？

見つけやすかった どちらともいえない 見つけにくかった

送信

お問い合わせ

東京都 日の出町 文化スポーツ課 社会教育係

電話: 042-597-0511(内線541) ファクス: 042-597-6698

ひので映画大使最新版への別ルート

[トップ](#) [新着情報](#)

Copyright (C) Hinode Town All Rights Reserved.